

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年4月21日公開

(日本時間4月22日午前3時)

.....

アミール・ツアルファティです。エルサレムより、ライブ配信を行なっています。今日は4月21日土曜日、エルサレムよりライブです。

こちらは4月にしては珍しく少し肌寒いです。わたしの後ろには、旧市街の壁が見え、ここは非常に穏やかですが、イスラエル周辺諸国の空気は全く違います。それについて、これからお話します。最近私たちは、二つの大きなお祝いをしたところです。

3日ほど前、イスラエルは戦没兵士たちを追悼しました。イスラエルの戦争で戦死した25,656人の兵士たちに敬意を表して、2分間のサイレンとともに、黙祷しました。全ての交通機関は止まり、人々は車から降りて車外に立ちました。また、人々は墓地を訪れ、わたしも1967年に戦死した叔父の墓を訪れました。イスラエルは戦死した兵士たちを忘れません。私たちは一つの大軍隊ですから。イスラエルの家庭はどこも、現役兵士か元軍人である家族が必ずいます。ですから、私たちはそれを忘れません。私たちは一つの大軍隊なのです。最近、ネタニヤフ首相が繰り返しました。

「我々は、自分たちで自衛しなければならない。」

私たちは独立70周年を祝いましたが、その式典は見事で、驚きに値するものでした。これは他のどの国とも違うのです。信者である皆さんは、どうか理解しておいてください。

イスラエルは、神が希望の源、祝福の源としてデザインされたのです。

希望の源とは、イスラエルは、神が真実であられることの証明です。

祝福の源とは、イスラエルを通して、神が唯一の神を提供され、神の御言葉を提供され、神の御子を与えられましたから。

ですから神はこの国を、他の世界の諸国にとっての祝福となるようにされたのです。

神は、この国が他の国よりも優れている、と言われたのではなく、ただ、他の諸国を祝福されるために、この国を使おう、と言われたのです。ですからこの国は、他の全諸国にとっては、彼らが神を愛するかどうかの試験管です。もし、神が選ばれた民を嫌うのなら、その人たちは、イスラエルの神を愛していると言いながら、イスラエル人を憎む、とは言えませんから。ということで、70周年とは、神がこの70年間、真実であられたということです。私たちを故国に帰還させ、この地自体を回復されました。死んでいた地が、今や他のどの国にも無いほどに実を成らせています。ユダヤ人を、地の四方から、多くの敵に取り囲まれている地に帰還させました。強靱な軍隊を創設し、非常に多くの面で世界トップとし、イスラエルを最先端とされました。農業、薬品、技術、ハイテク、水の脱塩、その他非常に多くの面で、世界に祝福をもたらしました。そして、これがまさに、詩篇83篇にある——詩篇83篇は、もう成就されたと私は信じていますが、そこに書かれているメッセージはこうです。敵は、イスラエルの敵ではなく、神の敵であり、彼らは、神を滅ぼすことが出来ないため、こう言うのです。

4 ...「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名が、もはや覚えられないようにしましょう。」

(詩篇83:4)

彼らは、神の民、神に守られている者に敵対するのです。私たちが世界中で目にしている、考えられないよう

な反ユダヤ主義はこのためです。現在、ドイツのベルリン周辺でナチスの祝典が2日にわたって行われています。中には、アドルフ・ヒトラーの格好をしている人もいて、多くの人たちが、喜んで彼と一緒に写真を撮っています。信じられません。ホロコーストから80年経った今も、堂々とユダヤ人殺害、イスラエルの破滅を宣言する人がまだ多くおり、イスラエルの神以上に、ユダヤ人を殺した人物を認識しているのです。

今日は短いアップデートになります。理由は、お伝えすることが2~3だけなのと、それから、外は非常に寒いのです。ですから、2、3お伝えします。

一つ目。何日もそれを行うと匂わせた後、昨日、ロシアの貨物船がエーゲ海からタルスス（書記注：トルコ中南部メルスィン県の都市。アダナから西へ約40km離れた地中海沿岸に位置する。パウロの生誕の地。Wikipediaより）の港に到着し、シリアにS-300地対空ミサイルシステムを届けました。イスラエルが恐れていたことの一つです。



タルススの地図（左）とS-300地対空ミサイル（右）

S-300は、70年代に始まって80年代と、前世紀のもので結構古いですが、それでもまだまだ使えます。イスラエルには、それに対する答えがあります。しかし、それが稼働する前に取り去ってしまいたいのです。非常に面白い事に、ロシアはそれを貨物船ではるばる運びましたが、貨物船がタルススの港に着いた瞬間に、煙幕を使い始めました。衛星写真や偵察機によって何も探知されないように、文字通り、空中に煙を放ったのです。現在、ロシアの技術者たちは、必死でこれらの部品を組み立てて、シリアに配達しようとしています。アサドの宮殿の近くに置かれる可能性はかなり高い、と私は思っていますが、シリア空軍基地の隣に置かれる可能性はもっと高いでしょう。

もしイスラエルが然るべき対処を行なったとしても、驚かないでください。

もしそれに対して、何かをしたとしても、驚かないでください。

正直に言えば、あれがあそこにあるのは、私たちにとってはあってはならない事ですから、結果が伴います。

もう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、ここ数日、イランは全世界に向かって、イスラエルの終わりが近づいている、イスラエル破滅の日は定められている、と告げています。しかし、面白い事に彼らは、毎年同じことを言っています。

「25年以内に、シオン主義政権は消滅する」

と。面白いのは、2014年にも、2015年にも同じことを言っています。

私が思うに、現在彼らは人の怒りと注目を逸らそうとしているのでしょう。彼らと、彼らが国民の世話をしていないことから、人々の目を、イスラエルに敵対するように仕向けています。



イランのデモを呼びかけるツイッターのハッシュタグ

現在、皆さんの大手メディアはきっと報道していませんが、イランでは今、大きな反乱やデモが起っていて、公に「ハーメネイに死を！」「ロウハニーに死を！」と叫ばれているのです。革命以降、これまで一度もイランで聞かれなかったことです。それも、主要な大都市で、こういった暴動やデモが起っているのです。イランはそれを報道せず、彼らは、ソーシャルメディアでそれを報じることを禁じています。しかし、私たちのところには、いくつかの報告が届いていて、言っておきますが、イランの状況は絶望的です。国民が、自分たちの政府を打倒したいのです。それが、イランが国民の目をイスラエルに逸らそうと躍起になっているおもな理由です。そのため、シリアのT-4基地で死亡した、革命防衛隊の命の報復を誓ったりしているのです。このように、イラン国内は大々的に不穏です。興味深いのは、トランプ大統領が5月12日にイラン協議から撤退します。今から一ヶ月もありません。そして、イランの問題はどんどん大きくなっていて、あの政権が崩壊寸前である可能性は非常に高いです。そして、彼らが崩壊寸前に来たとき、彼らは非常に常識はずれな事をするでしょう。ということで現在、イラン人が自分たちの命を懸けて戦っています。それから、ロシア大統領は再選され、何でも自由に好きな事が行なえます。彼は、国民から権限を与えられていますから。

もしこれだけで足りないなら、エルドアンは来月の早期選挙を命じ、アンカラの国会がそれを承認しました。エルドアンが早期選挙を命じたということは、エルドアンの思考の中に、何か大きな計画がある、ということです。彼がこれから行おうとしていることに対する、トルコ国民の承認が必要だということを意味しています。このように、ロシアがあちらでの地位確立と、中東での実権を狙っていること、イラン国内の不穏、それとトルコの早期選挙の組み合わせは、——ちなみに、トルコは現在二心を抱いています。エルドアンはEU（ヨーロッパ連合）に30億ユーロを要求しています——ですから、北朝鮮は現在、表舞台から消えつつあり、残されたロシア、イラン、トルコが、現在文字通り孤立しています。

ロシアは現在、世界の一部、特に中東での支配力を失いつつあるのを感じています。そして、自分たちの栄光を取り戻したいのです。プーチンは、自国ではこれまでになかったほどに力を持っています。しかし、最近のシリアでの出来事によって、弱いイメージが付きました。彼が一度も報復しなかった事実からです。シリア爆撃に関して、私たちのところにどんどん報告が入って来ています。以前、お伝えした通り、建物が空であっただけでなく、マティス国務長官に、攻撃する場所を命じたロシアは、次のように言ったようです。

「もし、我々に報復してほしいなら、あなたがたが攻撃しても良い標的はこの3つだ。」

そして、その通りになりました。誰もが任務を達成した、と宣言しています。ロシアの中では、彼らも彼らの

すべき事を行なって、大規模の攻撃を防ぎ、更にこれらの建物の中に何も無いことを確認しました。それから、攻撃した他の国々の中では、彼らを行うべき事を行なった、彼らは攻撃するように言われていたこれらの標的を攻撃しました。そして、任務は達成されたのです。

つまり、私が言いたいのは、北朝鮮はある意味、図から外れました。

トルコは、早期選挙を命じています。

ロシアは、新しい地对空ミサイルシステムをシリアに運び込んでいます。

恐らく、イスラエルがそれを処分するでしょう。それからイランは、国中で大規模な不穏が起こっていて、彼らがイスラエルに向かって、火を吐き出しているのは、おもにそのためです。国民の注目を、国内の自分たちの問題から逸らすためです。

このように、4月の残りの日々と5月に、大きな試練が起こる材料は揃っています。ここ、イスラエルでは、私たちは非常に安全、非常に安心だと感じています。その理由は、私たちは話の結末を知っていますから。言っておきますが、イスラエルは用意ができています。現在、最高の警戒態勢です。事実、イスラエル空軍は通常アラスカで毎年行われる、大きな軍事訓練への参加を中止しました。現在、我々は非常に高いレベルの警戒態勢に入っていますから。我々の所有している全ての戦闘機は、ここに留まって出動に備えなければなりません。唯一、我々が送り出した飛行機は貨物機 C-130 で、F-15 や F-16、F-35 は確実に、国内で起こることに備えています。我々は、私たちがシリアでイランに対して行なった事への、イランの報復を予測しています。ただ、イランは海外にあるイスラエルの標的を攻撃する、と我々は考えています。

ともかく、繰り返しますが、すべての選択肢が揃っています。

ということで、短いアップデートでしたが、皆さんにお伝えしておきます。

現在、様々な事が起こっています。武器が届けられ、アサドは自国民への爆撃を再開しています。そして、こういったことが起こっている間にも、パレスチナ人は世界の注目を引こうと戦っており、彼らが何を行なっているかといえば、10代の子どもを送り込んで、彼らと我々間のフェンスに近づかせ、そして、「離れろ」という、兵士の命令に逆らわせます。さらには「行くな」という彼ら自身の両親にまで逆らわせ、——ハマスは10代の子どもたちを強制しています。そして、何かが起これば——昨日は15歳の子どもが死にました。すると、もちろん全世界が半狂乱です。シリアでは、毎時間ロシアやシリアによって何十人と殺されているのに、誰も何も言いません。それが、フェンスに近づいた15歳が殺されると、——彼は何かをもっているかも知れない、と我々は考えました。EUと国連から捜査命令が下されるのです。偽善も良いところですが、いつものことですが。

私たちは用意ができています。アメリカ大使館のエルサレム移転は、わたしのフェイスブックや、インスタグラムをご覧になれば、道路標識が既に出来上がっている写真を載せています。



アメリカ大使館への新しい道路標識

ルーマニアが、大使館をエルサレムに移転させることを決定しました。さらに5カ国が大使館をエルサレムへ移転させる計画をしています。すべては、たった一人の勇気ある大統領が、他の人のために道を敷いたのが始まりです。

現在、どれぐらい近づいているのでしょうか？

私たちは現在、どの位置にいるのでしょうか？

私たちには、その日、その時は分かりません。

しかし私たちには、時代と季節は分かります。

私たちは、信じられないような時代に生きています。

このような事を目にした時代は、今までにありません。

そして、今の日々、今の時代、神はその子どもたちには、ワクワクして備えをし、世界中に神の御名を知らせしてほしいと願っておられる、と私は思います。もうすぐです。

ここエルサレムより、皆さんを励ましたいと思います。どこにしようと、今日はあなたが周りの人たちに、あなたのメシアについて知らせるときです。

あなたの希望について。

彼が戻って来られることについて。

彼のよみがえりについて。

勇敢に戦うこと、しっかり走り抜くことについて。

戦う価値があり、走る価値があるものです。

ですから皆さん、元気を出してください。

配信が何度も途中で途切れてしまって、すみませんでした。出来る限り修正しますが、もし必要であれば、数日のうちにもう一度報告します。

現在、非常に面白いプロジェクト「Anchored North」を収録している最中で、わたしの証を撮影しています。そこから恐らく、10分ほどの動画を作成して、世界中に配信します。特に、イエス、イエシュアを信じるように、ユダヤ人に伝道するためです。ですので、お祈りいただくと感謝です。現在、私たちが行なっている

撮影だけでなく、これがかなりハードで、朝早くから夜遅くまでかかります。しかし、ここから出る実のためにもお祈りください。御国のために、魂を勝ち取りたいですから。聖書にある通り、福音は確かに、救いを得させる神の力、ユダヤ人が初めて、それからギリシャ人です。全ての信者、異邦人の信者全員が、ユダヤ人の救い、彼らがメシアを知って救われることを熱望すべきであり、全ての異邦人が、その一部を担うべきだと、私は思います。なぜなら、聖書にはローマ書に次のように書かれています。

11 …彼らの違反によって、救いが異邦人に及んだのです。それは、イスラエルにねたみを起こさせるためです。

(ローマ 11:11)

つまり、異邦人に救いが与えられたのは、ユダヤ人にねたみをおこさせるため、彼らの違反によったのです。だから、あなたの仕事は、イスラエルのねたみを引き起こすことです。誰かのねたみを起こさせるために出来ることは、何でもしなければなりません。あなたの持っているものが、自分も欲しいと思わせるのです。それは、彼らを憎むことではなく、

「あなたがたは置き換えられたんだ」

と言うことではなく、彼らを見放すことでもなく、拷問したり、殺したりすることでは絶対にありません。それは、神が、彼らに対して持っている、無条件の愛を示すこと、そしてさらに重要なのは、福音を伝える事です。イスラエルを愛し、ハグしながら地獄へ向かわせず、唯一の道、真理、いのちを伝えてください。彼が、その方ですから。聖書には、ゼカリヤ書 12 章に、彼らが自分たちの突き刺した方を見る時、彼らは嘆き悲しみ悔い改める、と書かれています。その時に、イスラエル国家が救われるのです。ですから、どうかそれについてお祈りください。

ありがとうございます。エルサレムより、God bless you!

凍えそうな寒さです。

皆さんが素晴らしい週末、素敵な日曜日を過ごされますように。

素晴らしい一週間を過ごされますように、お祈りします。

また、何か起これば、必ずお伝えします。ありがとうございました。

エルサレムより God bless you!

シャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

タルススの地図 : WORSHIP@Blog 「トルコツアー2013 (8) パウロとタルスス」 篇

S-300 地对空ミサイル : ギリシャ軍がクレタ島で実施した演習で発射したロシア製地对空ミサイル

「S-300/PMU-1」 2013年12月13日、資料写真 AFP

イランのデモを呼びかけるツイッターのハッシュタグ : 2018年4月18日のツイッターより

アメリカ大使館への新しい道路標識 : Behold Israel のフェイスブックより